

IBM PureApplication Service Infrastructure

ご利用条件(以下、「ToU」といいます。)は、本「IBM ご利用条件 - SaaS 特定オフリング条件」(以下、「SaaS 特定オフリング条件」といいます。)、および以下の Web サイトでご覧いただける「IBM ご利用条件 - 一般条件」(以下、「一般条件」といいます。)という表題の文書で構成されています

(URL:<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/tou-gen-terms/>)。

「SaaS 特定オフリング条件」と「一般条件」の規定に矛盾がある場合は、「SaaS 特定オフリング条件」が優先して適用されるものとします。「IBM SaaS」の注文、そのアクセスまたは利用により、お客様は「ToU」に同意したものとみなされます。

「ToU」は、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」、「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスプレスのご契約条件」、または「IBM SaaS 特定オフリングのご契約条件」(以下、「本契約」といいます。))に追加されるものであり、「ToU」と併せて完全な合意として成立します。

1. IBM SaaS

以下の「IBM SaaS」オフリングは、これらの「SaaS 特定オフリング条件」の対象です。

- IBM PureApplication Service C500-4-24 (4 core 24 GB) Infrastructure
- IBM PureApplication Service C500-8-128 (8 core 128 GB) Infrastructure
- IBM PureApplication Service C500-16-256 (16 core 256 GB) Infrastructure
- IBM PureApplication Service Storage Expansion 1 TB
- IBM PureApplication Service C500-4-24 (4 core 24 GB) Platform and Infrastructure
- IBM PureApplication Service C500-8-128 (8 core 128 GB) Platform and Infrastructure
- IBM PureApplication Service C500-16-256 (16 core 256 GB) Platform and Infrastructure
- IBM PureApp Service (4 core 24 GB) Config for Client-Owned Account
- IBM PureApp Service (8 core 128 GB) Config for Client-Owned Account
- IBM PureApp Service (16 core 256 GB) Config for Client-Owned Account
- PureApp Service Workload Backup & Restore Server
- PureApp Service Workload Backup & Restore Storage 0.1 TB
- PureApp Service Workload Backup & Restore Agent Entitlement 10 Pack
- PureApp Service DirectLink Config 1 Gbps
- PureApp Service DirectLink Config 1 Gbps

2. 課金単位

「IBM SaaS」は、「取引文書」に記載された以下の課金単位に従って販売されます。

- a. 「インスタンス」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、特定の構成の「IBM SaaS」へのアクセスです。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用することが可能な「IBM SaaS」の「インスタンス」ごとに十分な使用許諾を取得する必要があります。

3. 料金および課金

「IBM SaaS」に対する料金は、「取引文書」に記載されます。

3.1 1か月に満たない期間の料金

1か月に満たない期間の料金は、日割計算によりお客様に請求されます。1か月に満たない期間の料金は、IBM がお客様に対して「IBM SaaS」へのアクセスが可能になったことを通知した日から開始し、その月の残りの日数に基づき計算されます。「IBM SaaS」へのアクセスが当該月の初日に開始しない場合、1か月に満たない期間の料金は、お客様のサブスクリプション期間の開始時にのみ評価されます。1か月に

満たない期間の料金は、お客様のサブスクリプション期間の最初の満1か月が開始するまでの期間をカバーするのに必要な追加日数を含めるために、お客様のサブスクリプション期間にまで有効に及びます。

4. 「IBM SaaS」の「サブスクリプション期間」の更新オプション

以下のいずれかを指定することによって、「サブスクリプション期間」の終了時に「IBM SaaS」を更新するかどうかをお客様の「PoE」で定めます。

4.1 自動更新

お客様の「PoE」に、お客様の更新は自動更新と記載されている場合、お客様は、「PoE」に規定されている有効期間満了日の少なくとも30日前までに、お客様のIBM営業担当員またはIBMビジネス・パートナーへの書面による要求により、期間満了となる「IBM SaaS」の「サブスクリプション期間」を終了させることができます。IBMまたはIBMビジネス・パートナーが、有効期間満了日までにかかる終了通知を受領していない場合、期間満了となる「サブスクリプション期間」は1年間、または「PoE」に規定される当該更新前の「サブスクリプション期間」と同じ期間のいずれかで自動的に更新されます。

4.2 請求の継続

「PoE」にお客様の更新は継続すると記載されている場合、お客様は引き続き「IBM SaaS」に対するアクセス権限を有するものとし、「IBM SaaS」の利用に対して継続的に請求が行われます。「IBM SaaS」の利用を中断し、継続的な請求プロセスを停止するためには、お客様は30日前までに、IBMまたはIBMビジネス・パートナーにお客様の「IBM SaaS」を解約する旨を請求する通知を書面で行う必要があります。お客様のアクセスの解約により、お客様には解約の効力が生じる月内の未処理のアクセス料金が請求されます。

4.3 更新が必要

「PoE」にお客様の更新タイプは「終了」と記載されている場合、「IBM SaaS」は「サブスクリプション期間」の満了時に終了し、お客様の「IBM SaaS」へのアクセスは削除されます。終了日以降も「IBM SaaS」の利用を継続するには、お客様のIBM営業担当員またはIBMビジネス・パートナーに対して新規の「サブスクリプション期間」を発注し、購入する必要があります。

5. テクニカル・サポート

「テクニカル・サポート」は「IBM SaaS」オファリングおよび「イネーブリング・ソフトウェア」に対して、「サブスクリプション期間」中に適宜提供されます。「テクニカル・サポート」は、「IBM SaaS」に含まれ、個別のオファリングとして提供されるものではありません。

「テクニカル・サポート」の情報は、以下のWebサイトで閲覧可能です。

http://www.ibm.com/support/entry/portal/product/puresystems/pureapplication_service

以下の第7.3条に従い、お客様は、IBMが「構成済みインフラストラクチャー SaaS」の一部としてお客様の構成のプロビジョニングおよび注文を支援し、お客様に代わって問題報告を保管し、ソフトウェアをアップデートして、「構成済みインフラストラクチャー SaaS」でBYOSLに基づき「対象製品」に変更を加えることができることに同意するものとします。お客様は、必要なアカウント情報を提供し、IBMが定義する管理アクセスを備えたユーザーIDを作成して、お客様がこのIBM以外が所有するインフラストラクチャーを「IBM SaaS」とともに使用する限りにおいて、当該アカウントへの継続的な管理アクセスをIBMに提供することに同意するものとします。

6. 「IBM SaaS」オファリングの追加条件

6.1 データ収集

お客様は、IBMが「IBM SaaS」の通常の運用およびサポートの一環として、トラッキングおよびその他の技術により、「IBM SaaS」の使用に関連してお客様（お客様の従業員および従契約者）から個人情報を収集できることを認識し、これに同意するものとします。IBMは、ユーザー・エクスペリエンスの向上およびお客様との対話の調整を目的として、「IBM SaaS」の有効性について使用統計および情報を収集するためにこれを行います。お客様は、IBM、その他のIBMグループ会社およびその従契約者が、営業活動を行う地域で、適用法に従い、IBM、その他のIBMグループ会社およびそれぞれの従契約者の範囲内で、収集した個人情報を以上の目的のために処理できるように、お客様が同意を取得する意向である

こと、または取得済みであることを確認します。IBM は、収集した個人情報へのアクセス、更新、修正または削除について、お客様の従業員および従契約者からの要求に従います。

6.2 Derived Benefit Locations

該当する場合、税金は、お客様が「IBM SaaS」に関する利益を享受しているとお客様が特定する場所に基きます。IBM は、お客様が IBM に追加情報を提供する場合を除き、「IBM SaaS」の注文時に主要な Benefit Location として記載した事業所住所に基づいて税金を適用します。お客様は、当該情報を最新に保ち、変更があった場合には IBM に通知する責任を負うものとします。

7. お客様の義務

7.1 関連プログラム使用許諾

以下の「IBM SaaS」オファリングのサブスクリプション使用許諾を取得するお客様の場合。

- IBM PureApplication Service C500-4-24 (4 core 24 GB) Infrastructure
- IBM PureApplication Service C500-8-128 (8 core 128 GB) Infrastructure
- IBM PureApplication Service C500-16-256 (16 core 256 GB) Infrastructure
- IBM PureApp Service (4 core 24 GB) Config for Client-Owned Account
- IBM PureApp Service (8 core 128 GB) Config for Client-Owned Account
- IBM PureApp Service (16 core 256 GB) Config for Client-Owned Account

これは「インフラストラクチャーおよび構成パーツ」と呼ばれ、関連 IBM プログラムのライセンス資格をあらかじめ取得している必要があります。関連 IBM プログラムは、対応するプログラム・ライセンスに記載したプロセッサ・バリュー・ユニット (PVU) ベースで使用許諾されます。関連 IBM プログラムは以下のいずれかになります。

- a. IBM PureApplication Software
- b. IBM PureApplication Service Platform。

「インフラストラクチャーおよび構成パーツ」に対するお客様の使用許諾は、下表に規定される PVU 変換レーティングに従って、関連 IBM プログラムに対するお客様の使用許諾範囲を超えることはできません。

お客様は、「インフラストラクチャーおよび構成パーツ」で関連 IBM プログラムの使用権を行使している場合、お客様のオンプレミスに導入された環境内で同じ使用権を行使することはできません。

インフラストラクチャーおよび構成パーツの PVU レーティング

PureApplication Service パーツ	関連 IBM プログラム PVU レーティング
IBM PureApplication Service C500-4-24 (4 core 24 GB) Infrastructure	280 PVU
IBM PureApp Service (4 core 24 GB) Config for Client-Owned Account	280 PVU
IBM PureApplication Service C500-8-128 (8 core 128 GB) Infrastructure	560 PVU
IBM PureApp Service (8 core 128 GB) Config for Client-Owned Account	560 PVU
IBM PureApplication Service C500-16-256 (16 core 256 GB) Infrastructure	1120 PVU
IBM PureApp Service (16 core 256 GB) Config for Client-Owned Account	1120 PVU

例: お客様が以下を購入している場合。

- IBM PureApplication Service C500-4-24 (4 core 24 GB) Infrastructure の 2 つのインスタンス
- IBM PureApplication Service C500-16-256 (16 core 256 GB) Infrastructure の 3 つのインスタンス

上表の情報に基づき、本「SaaS」環境の PVU の総キャパシティーは、「(2 x 280 PVU) + (3 x 1120 PVU)」の計算式から 3920 PVU となります。

「インフラストラクチャーおよび構成パーツ」で使用するためには、お客様は、関連 IBM プログラムに対する使用権のいずれかから 3920 PVU の使用権を割り当てる必要があります。お客様は、「サブスクリプション期間」の間、オンプレミス環境内でこれらの 3920 PVU の使用権を行使することはできません。お客様が「インフラストラクチャーおよび構成パーツ」に対する権利を有しなくなった場合、お客様は、そのオンプレミス環境内であらかじめ割り当てられた PVU の使用を再開することができます。

「インフラストラクチャーおよび構成パーツ」には、関連 IBM プログラムのサブスクリプション & サポートは含まれていません。お客様は、関連 IBM プログラムについて適用可能な (1) ライセンス資格、および (2) サブスクリプション & サポートを予め取得していることを表明するものとします。「インフラストラクチャーおよび構成パーツ」の「サブスクリプション期間」の間、お客様は関連 IBM プログラムの最新のサブスクリプション & サポートを維持する必要があります。関連 IBM プログラムを使用するためのお客様のライセンス、または関連 IBM プログラムのお客様のサブスクリプション & サポートのいずれかが終了した場合、お客様の「インフラストラクチャーおよび構成パーツ」を使用する権利は終了します。

以下の「IBM SaaS」オファリングには、上記の関連 IBM プログラムに対する使用許諾は必要ありません。

- IBM PureApplication Service C500-4-24 (4 core 24 GB) Platform and Infrastructure
- IBM PureApplication Service C500-8-128 (8 core 128 GB) Platform and Infrastructure
- IBM PureApplication Service C500-16-256 (16 core 256 GB) Platform and Infrastructure

7.2 IBM ソフトウェアとライセンスの持ち込み (BYOSL) 要件

お客様は、「IBM SaaS」にアップロードされ、使用される対象製品に対して、十分なソフトウェア・ライセンス資格(以下、「使用許諾」といいます。)を持ち込む必要があります。明確にするために言及しますが、「対象製品」は上記 7.1 の「関連する IBM プログラム」とは別ものであり、それに追加されるものです。

お客様が、本「IBM SaaS」オファリングで BYOSL に基づいて対象製品の「使用許諾」を適用する場合、かかる「使用許諾」は「IBM SaaS インスタンス」専用であるため、お客様は、同時に「IBM SaaS」以外で当該対象製品の「使用許諾」を適用することはできません。

対象製品に関するお客様の「PoE」において、「IBM SaaS」内で使用許諾された範囲内の使用について、利用可能レベルが指定されます。お客様は、「IBM SaaS」にアップロードされた各対象製品の使用許諾範囲内の使用について利用可能レベルを超えることはできません。

「IBM SaaS」オファリングでの使用に利用可能な対象製品は、PVU または仮想サーバー・ベースで、使用許諾を受けることができます。当該対象製品は、IBM Pure Application オンプレミス製品で使用するために特別に設計されており、また、本「IBM SaaS」オファリングでも使用することができます。

PVU によって使用許諾される対象製品については、「IBM SaaS」のサーバー・タイプごとに必要とされる対象製品の PVU の「資格」についての「BYOSL の PVU 要件」というタイトルの表を参照してください。

BYOSL の PVU 要件

「IBM SaaS」オファリング	対象製品について必要な PVU
IBM PureApplication Service C500-4-24 (4 core 24 GB) Infrastructure	280 PVU
IBM PureApplication Service C500-4-24 (4 core 24 GB) Platform and Infrastructure	280 PVU
IBM PureApp Service (4 core 24 GB) Config for Client-Owned Account	280 PVU
IBM PureApplication Service C500-8-128 (8 core 128 GB) Infrastructure	560 PVU

「IBM SaaS」 オファリング	対象製品について必要な PVU
IBM PureApplication Service C500-8-128 (8 core 128 GB) Platform and Infrastructure	560 PVU
IBM PureApp Service (8 core 128 GB) Config for Client-Owned Account	560 PVU
IBM PureApplication Service C500-16-256 (16 core 256 GB) Infrastructure	1120 PVU
IBM PureApplication Service C500-16-256 (16 core 256 GB) Platform and Infrastructure	1120 PVU
IBM PureApp Service (16 core 256 GB) Config for Client-Owned Account	1120 PVU

仮想サーバー・ベースで使用許諾される対象製品について、お客様は、適用される対象製品ライセンスに記載される「仮想サーバー」のライセンス条項に従う必要があります。

7.3 Bring Your Own Infrastructure Credits (BYOIC) 要件

IBM 以外のプロバイダーからのインフラストラクチャーをプロビジョンまたは注文し、IBM の構成要件のとおり、PureApplication サービスとともに使用するお客様は、IBM PureApplication Service Configuration を購入する必要があります (IBM 以外が所有するインフラストラクチャーは IBM PureApp Service Config for Client-Owned Account とともに、「構成済みインフラストラクチャー SaaS」といいます。)

PureApp Service Config for Client-Owned Account は、お客様が所有する SoftLayer アカウントから購入して、PureApplication Service とともに使用するインフラストラクチャー・インスタンスごとに購入する必要があります。お客様が、「構成済みインフラストラクチャー SaaS」で BYOSL に基づいて「対象製品」の使用許諾を適用する場合、かかる使用許諾は「IBM BYOIC SaaS オファリング」専用であるため、お客様は、同時に「IBM SaaS」以外で当該「対象製品」の使用許諾を適用することはできません。

IBM は「構成済みインフラストラクチャー SaaS」に必要な唯一の構成、更新および管理を提供します。お客様が IBM が構成するインフラストラクチャーに変更を加える場合、IBM はそれ以降にサポートを提供できなくなる場合があります、その場合、SLA はそれ以降適用されません。お客様は、定期的な停止に対応する担当者の名前と電子メール・アドレスを提供することに同意するものとします。IBM PureApp Service Config for Client-Owned Account は、お客様が既存の BYOIC インフラストラクチャーを追加するたびに、または BYOIC インフラストラクチャーを新規購入するたびに購入する必要があります。

対象製品に関するお客様の「PoE」において、「IBM SaaS」内で使用許諾された範囲内の使用について、利用可能レベルが指定されます。お客様は、「構成済みインフラストラクチャー SaaS」にアップロードされた各対象製品の使用許諾範囲内の使用について利用可能レベルを超えることはできません。

「構成済みインフラストラクチャー SaaS」での使用に利用可能な対象製品は、PVU または仮想サーバー・ベースで、使用許諾を受けることができます。当該対象製品は、IBM Pure Application オンプレミス製品で使用するために特別に設計されており、また、本「IBM SaaS」オファリングでも使用することができます。

PVU によって使用許諾される対象製品については、IBM の正確な仕様に合わせて、お客様が所有するインフラストラクチャー・アカウントからお客様が購入した「IBM SaaS」のサーバー・タイプごとに必要とされる対象製品の PVU の「資格」についての「BYOSL の PVU 要件」というタイトルの表を参照してください。

仮想サーバー・ベースで使用許諾される対象製品について、お客様は、適用される対象製品ライセンスに記載される「仮想サーバー」のライセンス条項に従う必要があります。

7.4 対象製品の使用、使用許諾のトラッキング要件、および条件

お客様は、「資格」および以下の使用許諾のトラッキング要件に関連する、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」または「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスプレスのご契約条件」のすべての条件を常に遵守する責任を負います。

「IBM SaaS」により管理、導入される対象製品について、お客様は、以下を行うことによって「IBM SaaS」のライセンス管理機能を使用する必要があります。

- a. 各「IBM SaaS インスタンス」に割り当てられている「資格」の正確な数を入力します。
- b. 1つのパターンに追加の対象製品をインストールするときは、パターン・メタデータを更新することによって「IBM SaaS」環境に追加される対象製品に関して、パーツ番号情報が含まれ、追跡されることを保証します。「IBM SaaS」は、追加の対象製品を追跡する必要があります。詳細については、「IBM SaaS」の資料を参照してください。
- c. お客様は、適用される IBM プログラムご使用条件の遵守状況の検査条件が、対象製品の「資格」の導入対象である「IBM SaaS」オファリングに及ぶことを了承します。「IBM SaaS」オファリングを使用することにより、お客様は、IBM に当該環境への管理者アクセスを提供し、ソフトウェア・ライセンス審査と関連して必要な場合に、IBM がデータ・ディスカバリーを実施するのを許可することに同意したものとみなされます。
- d. お客様が対象製品ライセンスおよび「IBM SaaS」の使用条件に従うことを前提として、これらの条件は、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」または「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスプレスのご契約条件」で規定された、「サブキャパシティー・ライセンス」の対象および使用状況報告に関して相反する、あらゆる条件に優先するものとします。

別紙 A

IBM PureApplication Service は、お客様が専用のオフプレミス・クラウド・インフラストラクチャーで、各種パターンを実行する方法を提供します。

パターンとはアプリケーションの青写真であり、PureApplication クラウド・インフラストラクチャーに容易に展開できる形式で取り込まれるアプリケーションの事前定義されたアーキテクチャーです。

IBM PureApplication System の W1500 型および W2500 型に展開するために開発されたパターンは、PureApplication Service へ展開できます。IBM PureApplication Service に展開するために開発されたパターンは、IBM PureApplication System の W1500 型および W2500 型へ展開できます。

PureApplication Service は Image Construction and Composition Tool and Plugin Development Kit を提供して、PureApplication Service および PureApplication System クラウド・インフラストラクチャーの両方に展開可能なカスタム・パターンを作成できるようにします。

PureApplication Service では、PureApplication Service 環境へのパターンのインポートおよび同環境からのパターンのエクスポートのための機能が提供されます。

PureApplication Service には、ユーザーがソフトウェア・ライセンスのモニターと管理を実行して、ライセンス管理要件に常に準拠できる機能が含まれています。

サービス・プロビジョニング時に、サービス・ユーザー(プロビジョニング形式で識別される)は、「IBM SaaS」へのアクセスに必要な、IP アドレスまたは URL、およびユーザー資格情報(ユーザー ID とパスワード)を受け取ります。

1. IBM PureApplication Service Infrastructure

- IBM PureApplication Service C500-4-24 (4 core 24 GB) Infrastructure
- IBM PureApplication Service C500-8-128 (8 core 128 GB) Infrastructure
- IBM PureApplication Service C500-16-256 (16 core 256 GB) Infrastructure

本「IBM SaaS」オフファリングについて、お客様は、PureApplication Service 環境をプロビジョニングするのに適切なソフトウェア使用許諾を取得済みである必要があります。IBM はこの「IBM SaaS」に対して基本的なインフラストラクチャーを提供します。

2. IBM PureApplication Service Platform and Infrastructure

- IBM PureApplication Service C500-4-24 (4 core 24 GB) Platform and Infrastructure
- IBM PureApplication Service C500-8-128 (8 core 128 GB) Platform and Infrastructure
- IBM PureApplication Service C500-16-256 (16 core 256 GB) Platform and Infrastructure

IBM は PureApplication Service 環境に必要なあらゆるインフラストラクチャーおよびソフトウェア機能を提供します。お客様はこの完全に展開された環境に同意するものとし、また、本「IBM SaaS」オフファリングをサブスクライブする場合はその他の使用許諾を取得する必要はありません。

3. IBM PureApp Service Config for Client-Owned Account

IBM PureApp Service Config for Client Owned Account は、以下の構成で入手できます。

- IBM PureApp Service (4 core 24 GB) Config for Client-Owned Account
- IBM PureApp Service (8 core 128 GB) Config for Client-Owned Account
- IBM PureApp Service (16 core 256 GB) Config for Client-Owned Account

このオプションに対して使用許諾を購入するお客様は任意のインフラストラクチャー・プロバイダーと直接契約を結ぶことになり、また、IBM が要求する仕様に合わせて環境を構築することになります。お客様には、PureApplication サービスの構成を完了するのに適切なソフトウェア使用許諾を事前に取得していただきます。IBM は必要なソフトウェアとインフラストラクチャーを構成し、また、お客様の本オフファリングのサブスクリプション期間にわたり、お客様がこの環境に必要な IBM ソフトウェアに対して

それぞれのインフラストラクチャー・プロバイダーおよび使用許諾を良好に維持し続けることを条件に、IBM は当該環境を維持します。

4. オプション機能

4.1 IBM PureApplication Service Storage Expansion 1 TB

以下のいずれかの「IBM SaaS」について「インスタンス」のストレージ割り振りを増やす場合には、1 テラバイト単位で追加ストレージを取得することができます。

- IBM PureApplication Service Infrastructure
- IBM PureApplication Service Infrastructure and Platform
- IBM PureApplication Service Config for Client-Owned Account

4.2 ワークロードのバックアップおよびリストア

お客様が、お客様の PureApplication Service Infrastructure、PureApplication Service Infrastructure and Platform、または PureApplication Service Config for Client-Owned Account IBM SaaS に対してワークロードのバックアップ機能およびリストア機能を必要とする場合、以下のオプションが利用可能です。

- PureApp Service Workload Backup & Restore Server
お客様のワークロードのバックアップ & リストアの設定により、お客様は、購入済みの PureApp Service Workload Backup & Restore Server の各「インスタンス」に対して 0.1 TB のストレージを獲得するとともに、お客様のワークロードのバックアップおよびリストアが可能になります。
- PureApp Service Workload Backup & Restore Storage 0.1 TB
PureApplication Service Workload Backup & Restore Server に割り振られたストレージの量を増やすために、お客様は使用許諾を取得して、購入済みの各インスタンスに対して 0.1 TB 単位でストレージ・キャパシティを増やすことができます。PureApp Service Workload Backup & Restore Storage 0.1TB の各「インスタンス」は、PureApp Service Workload Backup & Restore Server の 1 つの「インスタンス」にのみ関連付けることができます。
- PureApp Service Workload Backup & Restore Agent Entitlement 10 Pack
お客様のワークロードのバックアップ & リストア・エージェント使用許諾は、購入済みの PureApp Service Workload Backup & Restore Agent Entitlement 10 Pack の各「インスタンス」に対して 10 個単位で増やすことができます。PureApp Service Workload Backup & Restore Agent Entitlement 10 Pack の各「インスタンス」は、PureApp Service Workload Backup & Restore Server の 1 つの「インスタンス」にのみ関連付けることができます。

4.3 DirectLink

以下のいずれかの「クラウド・サービス」について「インスタンス」のストレージ割り振りを増やす場合には、1 テラバイト単位で追加ストレージを取得することができます。

お客様が、IBM PureApplication Service Infrastructure または PureApplication Service Infrastructure and Platform IBM SaaS のいずれかのプライベート・ネットワークに自社のオンプレミス・ネットワークを直接接続する必要がある場合、お客様は、以下のオフリングのいずれかを購入してお客様の「IBM SaaS」に対するダイレクト・プライベート・ネットワーク接続を構築することができます。

- PureApp Service DirectLink Config 1 Gbps
- PureApp Service DirectLink Config 10 Gbps

Customer の DirectLink は 1 Gbps または 10 Gbps のスピードに構成することができ、お客様ごとに、PureApp Service DirectLink Config 1 Gbps または PureApp Service DirectLink Config 10 Gbps のいずれかについて 1 つのインスタンスのみ購入できます。IBM は PureApp Service DirectLink へのアクセスをセットアップして提供しますが、お客様は、自社の「インターネット・サービス・プロバイダー」と連携して「IBM SaaS」への接続をセットアップする必要があります。

別紙 B

IBM は、「IBM SaaS」に関して、以下の可用性サービス・レベル・アグリーメント (以下、「SLA」といいます。) を提供し、お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」で指定される場合には、この SLA が適用されます。開始時またはお客様の「サブスクリプション期間」の更新時における最新版の本 SLA の条件が、適用されます。お客様は、SLA が、お客様に対し何ら保証するものでないことを理解します。

1. 定義

- a. **「可用性クレジット」** - IBM が検証した「請求」に対して提供する救済措置をいいます。「可用性クレジット」は、返金または「IBM SaaS」のサブスクリプション料金の将来の請求額から割り引く形で適用されます。
- b. **「請求」** - お客様が IBM に対して提出する、「契約月」中に SLA が満たされていない旨の主張をいいます。
- c. **「契約月」** - その月の初日の午前 12 時 (米国東部標準時) から当該月の末日の午後 11 時 59 分 (米国東部標準時) までを基準とする「IBM SaaS」期間における各 1 か月をいいます。
- d. **「ダウン時間」** - 「IBM SaaS」を処理する実稼働システムが停止し、許諾を得ているお客様のユーザーが、あらゆる点で「IBM SaaS」を利用できなくなる期間をいいます。「ダウン時間」には、「IBM SaaS」が以下のいずれかに起因して利用できなくなった場合の期間は含まれません。
 - 保守のための定期的な停止または発表された停止。
 - IBM の管理の及ばない事象または原因 (例: 自然災害、インターネット障害、緊急保守等)。
 - お客様または第三者のアプリケーション、機器、またはデータの不具合。
 - 「IBM SaaS」にアクセスするための所要のシステム構成およびサポートされているプラットフォームをお客様が満たさない場合。
 - IBM が「お客様」または「お客様」に代わる第三者が IBM に提供する設計、仕様、または指示に従った場合。
- e. **「事象」** - SLA が満たされない原因となる状況または一連の状況をいいます。

2. 可用性クレジット

- a. 「請求」を提出するためには、お客様は、「事象」ごとに、かかる「事象」がお客様による「IBM SaaS」の利用に影響を与えたことをお客様が最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して重要度 1 のサポート・チケットを記録しなければなりません。お客様は「事象」に関するすべての必要な情報を提供し、「事象」の分析および解決のために IBM を合理的に支援する必要があります。
- b. お客様は、お客様の「可用性クレジット」に対する「請求」を、「請求」が生じた「契約月」の末日から 3 営業日以内に提出する必要があります。
- c. 「可用性クレジット」は、特定のデータ・センターで「IBM SaaS」固有のインスタンスに対する「ダウン時間」がお客様に対し最初に影響を与えたことにつきお客様により報告された時点から測定される「ダウン時間」に基づいて決定されます。IBM は、有効な各「請求」に対して、適用可能なもっとも高い「可用性クレジット」を、下表のとおり、各「契約月」において達成したサービス・レベルに基づいて適用します。同「契約月」中における同「事象」に対する「可用性クレジット」は、重複して適用されません。
- d. お客様が、IBM の認定ビジネス・パートナーからの再販売取引によって「IBM SaaS」を購入した場合で、IBM が「IBM SaaS」および SLA のコミットメントを履行する第一義的な責任を負う場合、「可用性クレジット」は、「請求」の対象となる「契約月」において有効な「IBM SaaS」に対するその当時の「レベル別推奨数量割引料金」(以下、「RSVP」といいます。)に基づいて計算され、そこから、50% 割引した額となります。

- e. 各「契約月」に支払われた「可用性クレジット」の合計額は、いかなる状況においても、お客様が「IBM SaaS」の特定のインスタンスに対する「IBM SaaS」に対して IBM に支払った年額料金の 12 分の 1 の 10% を超えないものとします。「可用性クレジット」は、「IBM SaaS」サブスクリプションの請求金額全額に対して与えられるものではなく、「ダウン時間」が生じた特定のインスタンス (複数可) の金額に対して与えられます。

3. サービス・レベル

「契約月」における「IBM SaaS」の可用性は次のとおりです。

「契約月」における可用性	「可用性クレジット」 (「請求」の対象である「契約月」における 月額サブスクリプション料金の割合)
<99.9%	2%
< 95.0%	5%
< 90.0%	10%

「可用性」は、以下のとおり算出されます。(a)「契約月」における分単位の総時間数から、(b)「契約月」における「ダウン時間」の分単位の総時間数を差し引き、その値を(c)「契約月」における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

例: 「契約月」における「ダウン時間」が 50 分である場合

30 日の「契約月」における合計 43,200 分 - 「ダウン時間」50 分 = 43,150 分 <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 合計 43,200 分	= 「契約月」における 99.8% の「達成したサービス・レベル」につき 2% の「可用性クレジット」
---	---

4. 除外事項

本 SLA は、IBM のお客様に限り、適用されます。本 SLA は、以下の場合には適用されません。

- ベータ版および評価版のサービス。
- 「IBM SaaS」におけるお客様のユーザー、ゲスト、参加者、および許可された招待者による「請求」。
- 「IBM SaaS」オファリングで管理されていない項目には、以下が含まれます。
 - (1) 「IBM SaaS」オファリングで導入される仮想マシン。
 - (2) あらかじめ使用許諾されている「共有サービス」。「共有サービス」は、「IBM SaaS」オファリングにおいてお客様により導入され、複数のアプリケーション導入により共有される事前定義されたパターンです。これには、仮想アプリケーション、仮想システム、および仮想アプライアンスが含まれます。「共有サービス」は、「IBM SaaS」オファリングの一部として導入に対して利用できるものとします。